

歯の欠損から始まる病気のドミノ
 一命の質と量を守るためのインプラント治療—

優ビル歯科医院／大熊昌未



A4 判変 / 40 頁
 定価 2,940 円
 (本体 2,800 円 + 税 5%)
 医歯薬出版刊
 (2010 年 6 月発行)

本書はインプラント治療を行っている歯科医院の歯科医師をはじめ、歯科衛生士の私たちも目を通すべき書籍だと思います。なぜなら、私たち歯科医療従事者はあまりにも「口」だけをターゲットに医療行為を行って来てしまったのではないかと思うからです。

私ももちろんその一人でした。歯周基本治療からメンテナンスまでたくさんの患者さんとおつきあいしていくなかで、これまでの私はすこしでも長く天然歯を残すことに全力を尽くしてきたといってもよいでしょう。加えて、動揺のある歯やロングスパンのブリッジが入っていると、そこに見合った軟らかい食べ物を選択するように食事指導なども行ってきました。

しかしこの書籍を読み終えたとき、「歯を残すこと」だけに焦点を当ててしまっていたことがあまりにも浅はかな考えであったことに気づきました。この書籍のタイトル『歯の欠損から始まる病気のドミノ 一命の質と量を守るためのインプラント治療—』とあるように、本来、人間の咀嚼力は全身の健康のバ

ロメーターであることを痛感させられたのです。本書でも書かれているとおり、噛めなくなり軟らかいものばかり食べていると、生活習慣病を引き起こしたり、歩いていてちょっとつまずいても踏ん張る歯がなければ転倒してしまう可能性があるのです。噛めないとドミノ倒しのように病気を招いてしまう。身体を健康を考えるなら、まず噛めるように歯をきちんと治す。必要に応じて“噛める”口腔内環境をつくるためのインプラント治療を選択すること、そして健康に導くために食事指導を行う大切さを学びました。

本書は、難しい顔をして読み込むというものではなく、絵や写真が多くビジュアルに読みやすくまとめてあります。価格も内容に比して安価なので、いますぐ手にとってお読みいただきたい一冊です。そして、勤務先の医院の先生方といま一度治療概念を見直し、ステップアップしてみたいかがでしょうか。

最近、待合室にこの本を置き、患者さんにも目を通していただけるようにしました。すると驚くことが起こりました。“インプラントは高額だから”と治療に踏み切れなかった方が、健康観の変化からインプラント治療に興味をもち、治療を受けたいと申し出たのです。健康思考が高まる現在、私たちが想像している以上に、患者さんは噛める喜びを望んでいるのではないかと思います。インプラント治療は“欠損ドミノ”を食い止めることができる重要な選択枝の1つです。そして、“口は健康の入口”というように、歯科医療従事者が健康志向型歯科医院の構築を目指す時代なのです。